

2023 7/25

No.2191

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
— 神奈川政経懇話会 —



湘南の夏の風物詩「湘南ひらつか七夕まつり」が7～9日、JR平塚駅付近の繁華街で開かれ、115万人が楽しんだ。大河ドラマ主演の徳川家康などの大型竹飾り約100本がメイン通りに掲げられ、4年ぶりにライトアップも行われた。



## contents

視点点描	3
「都市対抗」沸かす3選手	
講演録	4
横浜市立大学の現在と未来 地域中核・特色ある研究大学を目指して 横浜市立大学学長 相原 道子	
特集	8
注目トレンド「イマーシブ」 あなたは体験？潜むリスクも	
政治双眼鏡	12
安倍派の行方、岸田首相が鍵握る 秋の人事、西村・萩生田両氏どう処遇	
本の森	13
世界一のゲームをつくる 今までにないゲームをつくる	
神奈川景気データファイル	14

### 事務局だより

◇2023年8月の見学・講演会  
8月25日(金)午後1時半～3時  
eスポーツ高等学院ヨコハマe  
スタジアムの見学と講演  
(横浜市中区太田町、横浜MB  
Cビル)

◇2023年9月の講演会  
9月8日(金)午後1時半～2時  
45分  
メルヴェーユ「ヴァランセ」  
(横浜市中区桜木町)  
演題:「Kアリーナ横浜の紹介  
と今後の展望」  
講師: Kアリーナマネジメント  
社長 田村 剛氏

◇2023年10月の講演会  
10月12日(木)午後1時半～3時  
ロイヤルホールヨコハマ  
(横浜市中区山下町)  
講師: 駐横浜大韓民国総領事  
金 玉彩氏  
※年末のシンポジウム「2024  
年の動向を読む」は12月15日  
(金)午前11時からの予定です。

# 視点 点描



## 「都市対抗」沸かす3選手

この夏、社会人野球の東芝（川崎市）が、神奈川の高校野球ファンを沸かせている。

今季から加わった3人の地元出身ルーキーが、都市対抗大会で7度の優勝を誇る強豪チームでそろってレギュラーをつかんだ。2018年に夏の甲子園「1000回大会」世代として注目された下山悠介（慶大）、斉藤大輝（法大）、山

田拓也（青学大）の3選手だ。写真真右から。

慶応高時代に1年夏から中軸を担い、3年時にはキャプテンとして春夏の甲子園にチームを導いたのは下山選手。斉藤選手は横浜高で3年連続夏の神奈川を制し、主将を務めた最後の夏は万波中正選手（日本ハム）らと甲子園で大暴れた。山田選手は東海大相模高

の2番打者として、森下翔太選手（阪神）らと選抜甲子園ベスト4の立役者となった。

そんな神奈川の名門チームでライバルだった3人が東芝の一、二、三塁を守り、上位打線を固めている。デビュー戦となった3月の東京大会から存在感を発揮し、4番を任されるようになった下山選手

は「これだけ神奈川勢がそろうのはなかなかないので縁というか特別なものを感じる」と言い、3番の斉藤選手は「神奈川の高校野球ファンも、うれしいんじゃないで



すかね」と誇らしげだ。

都市対抗大会の予選で3ホーマーを放つ輝きを見せた2番の山田選手は「2人は慶応や横浜で1年から試合に出てすごいと思っていた。（当時の）相模の選手たちは下山、斉藤を押さえれば何とかなると思っていた」と高校時代を振り返る。

プロ入りを目指している3人にとって、この夏の都市対抗大会は絶好のアピールの舞台だ。今月18日に東京ドームで行われた初戦は、七十七銀行（仙台市）を相手に下山が特大のホームラン、山田と斉藤もそれぞれヒットを放って8-3で快勝した。

この冊子が発行されるころには決勝戦まで終わっているが、今後の大活躍を期待できる社会人での全国デビューとなった。

（神奈川新聞社運動部長

真野 大樹）